

『一生懸命』幻の新座市議会報告第63弾!



たかむらともや

2010年12月31日発行

👤 よいお年を!

2010年もあとわずかというところまでできました。師走の語源は色々あるようですが、師匠の僧がお経をあげる為に東西を馳せる月で師馳する。師走となったとか。僕はもう教師ではありませんが、師走は確かに忙しかったような記憶があります。学期末の事務処理に忙しいのですが、クリスマスがあったり、冬休みがあったり、お正月があったりで、わくわくしていたことも覚えています。テニス部の練習は大晦日で終わり、元旦には始まっていましたから、僕はいつも子達と一緒にいました。12月議会では、子ども達となかなか一緒にいられない、忙しい先生達の姿が浮き彫りになりました。その多忙度は限界を超えているのに、市教委がなかなかその多忙度を解消できない姿も資料から分かってきました。今の先生は夏休みも冬休みも殆ど出勤しなければなりません。事務的な仕事が圧倒的に多いのです。小学校も中学校も8時、9時過ぎに学校に残っているのが当たり前というのですから大変です。部活で朝から晩まで毎日学校にいた僕がいうのもおかしい話ですが、休みの時こそ先生達には学校以外の世界を見て勉強して欲しいと思います。そして、学校での疲れを癒して欲しいと思います。今回の議会でも「学校の職員トイレにウォッシュレットを!」「先生たちから駐車料金を徴収するな!」と提案しましたが、市長・教育長の答弁は冷たいものでした。市役所のトイレは各階ともウォッシュレットが付きました。忙しくて、倒れそうな先生達のことも少しは心配して欲しいところです。埼玉県40市の中で、県の職員である先生達から駐車料金を取っているのは新座市を含めて4市だけ。校舎の耐震補強100%や、来春から善普通教室にエアコンが付くことは大いに評価しますが、もう少し、先生達の側に立って考えて欲しいと思います。新座の先生達が本気で燃えて、力を発揮できるようにしたいものです。



最前列の一番左が僕の机です。議席番号8番です。資料はノートや眼鏡、計算機が見えます。

たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。国家公務員だった、父新太郎と母ひさ子の三男として、東京都新宿区に生まれる。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。大学3年の時、突然教師になる決意をする。77年から教師として五中・六中・二中で21年間を過ごし98年退職。04年初当選。どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。「黒目川川づくり懇談会」代表。石神3丁目在住。趣味はテニス・サッカー・料理・読書・カメラ・川掃除。新座五中・六中の男女硬式テニス部を率いて、県大会は50回以上、関東大会5回、全国大会2回優勝。学級通信「一生懸命」を20年間発行し続ける。議員日記は6年と10ヶ月毎日更新。アクセスは13万回を超える。小中高生と先生・保護者の生の声を聞きながら、日々教育を考え「観光新座ではなく、教育新座」を訴えている。ご感想・ご意見・ご提案をお待ちしています。たかやん👤

たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869

携帯 090-6497-5737

mail: takayanchan@jcom.home.ne.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 町内会がおかしい

野寺に住む卒業生から「町内会がおかしい」という相談を受けました。早速、市役所へ行き色々調べました。この12月議会では8つの町内会の収支報告書を資料として要求しました。この資料には僕だけではなく、他の議員も驚きました。町内会によって、その内容が余りにも違うからです。議員の政務調査費が話題になっていますが、そんなレベルではないのです。年間の収支が1000万円を超えるのに、中学校の生徒会以下の収支報告書なのですから困りました。その内容はたかやん日記の12月22日に掲載しましたので、ご覧になってください。

③ 町内会がおかしいその2

野寺町内会の問題はそれだけではありませんでした。3丁目の一部の自治会が団体で退会したことを見ても、その異常さが分かります。町内会というのは市民にとって一番身近な自治組織のはずです。それなのに、町内会の中には、野寺町内会のように一般会員が総会に出られない町内会もあります。例えば、野寺2丁目にある旭丘自治会は加盟世帯数が258世帯です。野寺町内会の2850世帯の実に9%（野寺2丁目の41.3%）を占めているのに、誰一人として総会には出ることも、野寺2丁目の代表になることもできません。杜撰な「収支報告書」にクレームを付けようにも、総会に出席することすら出来ないのです。「町内会が大きすぎて総会に全世帯が入る場所がない」というのが言い訳のようですが、学校の体育館を使わせてもらえば簡単なことです。それもできないとしたら町内会としての機能がないのですから、もう少し小さい組織にしていく方がいいでしょう。地域の住民の声が届かない町内会などあってはいけません。年間1800円の町内会費がどう使われたのか、誰がそれをチェックしたのか。町内会を構成している市民のみなさんには知る権利があります。市内60町内会の中には、町内会費を1円も徴収しないで、役員手当もなく、活動している町内会もあります。市からの補助金を利用しているのです。しかも、その収支報告書は立派で分かりやすいのですからたまりません。

③ 集団登校

当たり前のようになっている小学生達の集団登校が、お隣の市や区では当たり前ではないのです。僕は次男が入学してから、今まで130日以上集団登校に付き添ってきました。僕は我が家の子の登校班が大好きなので、毎朝、実に楽しいのです。しかし、疑問点も多く感じました。。そこで他の近隣市の教育委員会に聞いてみました。例えば、清瀬市では「集団登校は指導していないし、意味が無いものと思っています。交通事故などではかえって被害が拡大することもあります。ただし、小学校1年生では入学後の数週間限り、行っている小学校が数校ありますが、大部分の小学校は1年生が入学した数週間、教師や地域の方々、警察官、保護者が登下校時、路上に立って見守るということを行っています。あくまで、児童が自分で身を守れることに主眼をおいています。」一方、東京都練馬区では「教育委員会では集団登校の指導を行っていません。児童や保護者の危機回避意識を育てることが大切であります。ただし小学校1年生に限っては、数校、入学後の相当期間だけ集団登校を行っています。集団だと安全では無く、かえって危険なことが多いと思いますよ。」とのことでした。東久留米市ではこうです。「集団登校は実施していません。埼玉では行っているようですが、当市では、デメリットが多いため、実施をしていません。」そして、西東京市では「児童のつながりを保つ目的で、埼玉県では集団登校を行っているようですが、そういったことは、他でも行えるものです。当市では、特にメリットを感じておらず、集団登校は指導していませんし、行っている学校も把握しておりません。必要性もありません。」と、どこも完全否定です。近隣市ではとくに教育委員会が疑問に感じていたのです。勿論、交通量の問題も歩道の問題もあるでしょう。しかし、新座市17校全てに集団登校をする理由があるのでしょうか。新座市教委は「教育委員会として、集団登校するようには指導していません」というのが公式見解です。だとしたら、それぞれの地域で色々なパターンがあつていいはずです。みんなで一緒に考えていきませんか。たかやん